

道連ニュース

2022年12月号 No.192

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

80周年、100周年
につなげる

「北大生協創立75周年記念講演会」開催報告

北海道大学生生活協同組合 専務理事 小助川 誠



北海道大学生生活協同組合は1947年6月13日（昭和22年）北海道大学協同組合として誕生してから、2022年6月13日（令和4年）に「北大生協創立75周年」を迎えました。これまで多くの組合員、大学、生協関係者、取引先様のご支援、ご協力により支えられ、この日を迎えられる事に、心より感謝とお礼を申し上げます。

「北大生協創立75周年記念講演会」は、2022年10月22日（土）北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟2階レクチャーホール（鈴木章ホール）にて開催し、生活協同組合コープさっぽろ大見英明 理事長より基調講演をいただきました。

当日は、来賓で北海道大学山口淳二 理事・副学長より挨拶を賜り、トークセッションパネリストとして北海道大学 吉見宏 理事・副学長、坂爪浩史 北大生協理事長にご参加いただきました。この他、大学教職員、地域生協関係者、生協職員等多くの方にご参加いただきました。

山口理事・副学長からの来賓挨拶では、北海道大学は2026年創基150周年記念に向けて活動を進めている。モットーは「光は北から、北から世界へ」。「光」というのは色々な人達の温かみ、希望が詰まっており、人の強い意志が込められている。北大に関係する全ての人達を「北大人」と言っているが、北海道大学150周年に向かって「北大人」の強い意志を札幌、北海道から全国、最終的に世界に伝えいくことが使命と考えている。この3年間

コロナ禍で一番大変だった学生に対して、フロンティア基金から経済支援や食糧支援活動を行った。食糧支援では生協の多大な貢献、協力で実現できた。これからも北海道大学と北大生協はタイトに連携をとりながら共に発展していきたいと、ご挨拶をいただきました。

この後、生活協同組合コープさっぽろ大見理事長より、「生活協同組合の可能性」コープさっぽろの実践からと題して基調講演をいただきました。

講演ではコープさっぽろ創立と北大生協とのつながり、1965年に事業スタートさせてからの発展と挫折、経営危機の問題点、1997年に経営破綻をしてから27年間の紆余曲折はあったが、北海道における事業基盤の構築を進め、現在の事業高は3,000億円を超え、関連会社事業23社で700億円を超えるところまで成果を生んでいる。北海道が抱えている課題に向き合って北海道の中でコープさっぽろが社会的な役割を発揮させていく事が地域の支えてくれている組合員に対して一番重要な事など、経営破綻からここまでの再生のみちのり（実践）を詳細にお話ししていただきました。

トークセッションでは、北海道大学 吉見理事・副学長からは「コロナ後見据えて」、大見理事長から「時代が変わった」というテーマで、ここでも北大生協の再生につながる貴重なお話をいただきました。

盛大な祝賀会等は開催しないコンパクトな「北大生協創立75周年記念事業」でしたが、来賓挨拶、基調講演、トークセッションは、現在着手している北大生協の組織、事業再生に向けて、大学、組合員に対して良い方向に向かえる大切な「学び」になりました。この「学び」は5年後の80周年、100周年につなげる、末永く大学・組合員から必要とされ、北海道大学の発展と魅力ある大学づくりに貢献し、大学に深く根付いた存在になるため、北大生協からアクションを起こし、職員一丸となって発展・再生させる強い気持ちとなった「北大生協創立75周年記念事業」になりました。

これからも北海道大学生生活協同組合を、どうぞよろしくお願い致します。





北見工業大学フードバンク開催のご報告

北見工業大学生協同組合 専務理事 田端 一徳 様

北見工業大学は1学年410人程度で、大学院生も含め学生数は2,000人くらいの大学です。その内一人暮らしをしている学生は95%を超え、少なくない学生がアルバイトで生活費を工面しています。アルバイト先の多くは飲食店やコンビニ等で、地元経済が低迷している中、学生のアルバイト需要はあるものの、求人数はコロナ前には戻っていません。学生の経済状況は2年前よりは上向いていますが、「苦しい・削りたい出費のNo.1は食費」と依然として多くの学生が思っています。

そのようななか、北見工業大学では10月21日(金)、22日(土)にフードバンクが開催されました。大学学生支援課を中心に、大学祭実行委員会・北見工大生協・生協学生委員会の4者でフードバンク実行委員会を組織し事前の準備から当日の運営まで行いました。学生数の約25%にあたる500人に大学では費用の一部を負担しつつ、大



準備や配布も学生が行いました

学同窓会や後援会ははじめ、様々な団体の皆さんにご協力いただき食料品を配布することができました。「助かる。協力していただいた方に感謝しかない。しばらく食費のことを考えずに生活できる」という学生の感想にすべて集約されていると思います。この場をお借りしまして、ご協力・ご



各団体からの贈呈式も行われました

支援いただきました北見工業大学同窓会、北見工業大学後援会「KITげんき会」、オホーツク農業協同組合長会、北見管内漁業協同組合長会、佐呂間漁業協同組合、株式会社ファミリーマート、ほっかいどう若者応援連絡会議（連合北海道・北海道労福協・北海道生協連・大学生協事業連合北海道地区）、他すべての皆様に御礼を申し上げます。

自分たちの生活を少しでも良くするために、みんなで協力してみんなで助け合う、そんな生協の原点のような取組を学内で行うことができました。

勉学の面では10月からはオンラインによる授業も少なくなり、ほぼすべての授業が学内で実施されています。久しぶりに学内に活気が戻ってきています。しかしながら、まだまだ多くの学生は様々な不安を抱え、大学生活を楽しめていないと思います。北見工大生協としてもこれからも皆さんのお力をお借りしながら、学生と一緒に大学を盛り上げていきたいと考えております。引き続きのご支援をお願いいたします。

お知らせ！協同組合ネット北海道拡大事務局会議報告 Vol.18

日時：令和4年11月10日(木)
場所：コープさっぽろ本部 会議室

1. 協議事項

- (1)令和5年度協同組合ネット北海道の事業計画（予算）について
 - ①9月8日事務局会議以降の考え方を整理し、追加した事業項目について協議。
 - ②構成各組織の5年度予算計上に向け、負担金の発生する事業等について、次回拡大事務局会議で再確認。なお、事業計画の具体化の議論は別途協議する。
 - ③令和5年度の当該事業の担当組織についても別途検討することで確認された。

2. 事業関係

- (1)公開講演会について（担当事務局：JA中央会）
 - ①8月事務局会議の考え方を踏襲し、令和5年2月までの範囲で（再度）日程調整をする。
 - ②11月中に講師打診の結果を踏まえ実施する。開催方法についても実・web併用を前提に講師とも協議。
- (2)ポスター・エコファイルの作成について（担当事務局：北海道労金）
 - ①組織紹介ツールとして、これまでの意見を踏まえたレイアウトに数値調査結果を反映した作成。

②各組織の必要数量確認後、令和4年12月の納品計画で調整中。

(3)こども食堂支援（学生支援プロジェクト活動）について（担当事務局：北海道生協連）

- ①こども食堂支援活動の新たな支援策として、「大学生 & こども食堂との連携による安定的な運営について」をテーマとし、「ほっかいどう若者応援プロジェクト」の枠組みを活用し、こども食堂の安定した運営が出来るスキーム構築について報告
- ②この学生プロジェクトの活動をプラットフォームとし、協同組合ネット北海道構成団体で、この支援活動への「あいのり」参画の検討をと提案。

3. 報告・情報提供関係

- (1)「移動販売車カケル ATM搭載車両」運行について（コープさっぽろ）
 - ▶買物困難地域への支援事業に賛同した苫小牧信用金庫とのATM搭載移動販売車の運行開始事例の報告。
- (2)北海道ろうきん 公式 twitter の開設について（北海道労金）
- (3)NPOとの連携状況の共有（北海道労金）
 - ▶「共生社会の実現」に向けた「つなぐプロジェクト」の上半期実施報告。